

総務大臣賞



産学官が連携したICTの活用により共生社会の実現に大きく貢献

聴覚障害者等支援アプリ「こえとら」の開発と展開に係る産学官連携

受賞者

○国立研究開発法人情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター 統合システム開発室 室長 葦苜 豊

○株式会社フィート 代表取締役 小林 照二

○一般社団法人電気通信事業者協会 専務理事 有木 節二

概要

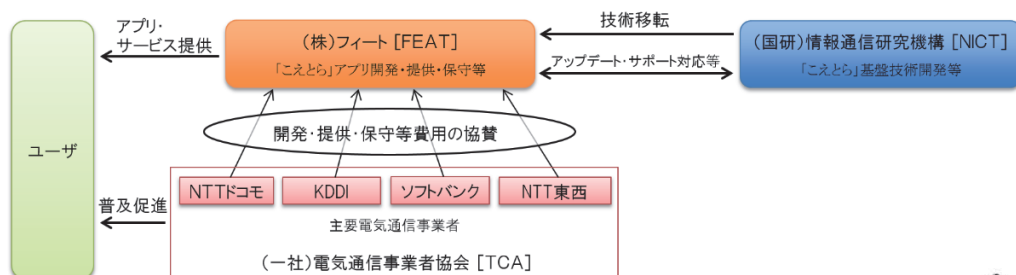
- ・「こえとら」は、情報通信研究機構（NICT）の開発した音声認識・合成技術を活用して音声と文字を相互にリアルタイムで変換し、聴覚障害者等と健聴者との間の円滑なコミュニケーションを支援する、スマホ等用のアプリ。
- ・現在、電気通信事業者協会（TCA）主要会員企業の協賛により、フィート（FEAT）が無償でアプリを提供中。

連携の特徴・工夫

- ・高精度・高品質な音声関連技術をもつNICTと音声関連技術のアプリ実装に多数の実績をもつFEATが連携し、ろう学校等での実証結果も踏まえ、聴覚障害者等のコミュニケーション支援ソリューションをスマホ等用アプリの形で開発。
- ・TCAの主要会員企業であるNTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、東日本電信電話及び西日本電信電話が協賛することで、ソリューションの持続的な社会実装を実現。

連携の効果

- ・NICTの音声関連技術を活用することで、高品質・高精度なサービスを実現するとともに、最新の研究成果を反映した機能強化を随時実施。
- ・FEATがアプリを提供することで、遠隔地間コミュニケーションへの対応などの利便性向上や対応端末の拡大、サポートの充実を実現。



「こえとら」の開発と展開に係る連携体制

社会・技術・市場等への貢献

- ・「こえとら」は、聴覚障害者等が従来困難を抱えていた健聴者とのコミュニケーションを、手話通訳者等を必要とせずアプリのみで支援するもの。音声認識・合成技術を活用することで両者間のコミュニケーションに際しての障壁を除去し、共生社会の実現に大きく貢献。
- ・アプリの累計ダウンロード数は4万を超えており、なお増加中。



「こえとら」によるコミュニケーション支援